

# フランソワ・トリュフォー特集

2015年2月14日(土)～2月27日(金) 3作品を日替りで上映



©1959 LES FILMS DU CARROSSE

ヌーヴェル・ヴァーグの金字塔  
大人は判ってくれない  
Les quatre cents coups  
2月14日(土)、17日(火)、20日(金)、  
23日(月)、26日(木)

2/14(土) 13:40～15:20  
予告編なし

2/17(火)・20(金) 12:50～14:40

2/23(月)・26(木) 10:00～11:50

1959年 フランス モノクロ (1時間39分)  
監督・脚本 フランソワ・トリュフォー  
撮影 アンリ・ドカエ  
出演 ジャン＝ピエール・レオ

トリュフォーの処女長編作で、ゴダールの「勝手にしやがれ」と並びヌーヴェル・ヴァーグの金字塔と称される。ジャン＝ピエール・レオ扮する不良少年アントワーヌ・ドワネルの物語。ある日、学校をさぼって街で遊んでいた彼は、母親が見知らぬ男と抱擁している姿を見てしまう…。少年の瑞々しい表情やユニークな振る舞いを巧みにすくいあげた名手アンリ・ドカエの撮影は息を呑む素晴らしさ。ラストシーンの鮮烈なイメージも傑作たる所以。



©1961 LES FILMS DU CARROSSE

映画史上に残る不朽の恋物語  
突然炎のごとく  
Jules et Jim  
2月15日(日)、18日(水)、21日(土)、  
24日(火)、27日(金)

2/15(日)・18(水) 12:50～14:45

2/21(土)・24(火)・27(金) 10:00～11:55

1962年 フランス モノクロ (1時間47分)  
監督・脚本 フランソワ・トリュフォー  
出演 ジャンヌ・モロー  
オスカー・ウェルナー  
アンリ・セール

トリュフォーの長編3作目は、映画史上に残る究極のラブストーリー。男二人と女一人の三角関係をヌーヴェル・ヴァーグの自由な発想で展開した、フランス映画屈指の傑作だ。今も現役で活躍中の大女優ジャンヌ・モロー。その自由奔放な演技が見事。

二人の青年ジュールとジムは友達。ある時、二人は幻燈を見て、アドリア海の島にある美術公園にある女の顔に魅了された。しばらくして二人はカトリヌという女性と知り合い心ときめかせる。彼女の顔は、島の彫像の女と瓜二つだった…。



©1980 LES FILMS DU CARROSSE

※3作品とも、配給 マーメイドフィルム  
※DCP上映

サスペンス仕立ての息呑む展開  
終電車  
Le Dernier métro  
2月16日(月)、19日(木)、22日(日)、  
25日(水)

2/16(月)・19(木) 12:50～15:10

2/22(日)・25(水) 10:00～12:20

1980年 フランス カラー (2時間11分)  
監督・脚本 フランソワ・トリュフォー  
出演 カトリーヌ・ドヌーヴ  
ジェラルド・ドバルデュー  
ジャン・ポワレ

ナチス占領下のパリを舞台に、演劇の灯を守る俳優たちの公私に渡る波乱万丈の日常を描いた物語。亡命中の夫がいる美貌の看板女優にカトリーヌ・ドヌーヴ、彼女に恋心を抱く新人俳優にジェラルド・ドバルデューというフランスを代表する俳優共演で作られた作品で、巨匠の風格漂う晩年の傑作だ。トリュフォーが最も得意とする複雑な恋の三角関係を軸に、戦争下の息詰まる展開で、全編サスペンス仕立てとなっている。ラストの衝撃等、娯楽映画要素満載の楽しさだ。

(プレス+せるペーじャ)

月刊ウインド 2015年2月号より

シネ・ウインド TEL025-243-5530 新潟市中央区八千代 2-1-1、1F